

## 2018年7月度 ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）議事要旨

日時：7月27日（金） 10:00～12:00

場所：ゴルフダイジェスト社 会議室

出席：JGGA、NGK、JGRA、PGS、JGJA、PGA、楽天、ゴルフネットワーク、経産省

司会：平野事務局長

議事録：PGS

### 1. 開会挨拶（手塚副委員長）

昨日開催したサミット会議では、来年のゴルフウィークの取組みについて議論がなされた。時期に関しても再検討の余地があるのではないかという点、また16団体で統一したテーマに取り組むべきではないかということから、既存ゴルファーの回数を増やす取組みではなく、子供と女性にターゲットを絞り新規ゴルファーの開拓に取り組む方向性が確認された。その方向性が確定出来れば、GMACもそれに沿った形で協力していくことが出来るのではないか。GMACも出来て14年が経っており、その間の活動を振り返り、新たな方向性を見つけていければと思いますので、ご協力をお願いします。

### 2. 報告・検討事項

(1) 「大学ゴルフ授業」の充実を目指した産学連携について(資料参照)

① スポーツキャップの構造と熱中症発症の危険に関する実験

- ・ 日程： 2018年8月10日（金）
- ・ 場所： 森林公園ゴルフ倶楽部（埼玉県大里郡寄居町）
- ・ 実験依頼者： ビルマテル株式会社（東京都中央区日本橋）
- ・ 被験者： 男女各4名、被験者は9:45および9:52にプレースタート
- ・ 実施・監修： 北 徹朗（医学博士）

(2) ゴルフ関連団体及び企業からのゴルフ活性化施策の実施状況報告と提案

① 「PGA ゴルフ市場再活性化策」の進捗状況報告

コースデビュープログラムの参画練習場が15場まで増加。

② 「ゴルマジ」・・・リクルートライフスタイル（別紙参照）

会員登録数7,002名（19歳1,335名・20歳5,667名） 7/19現在

施設利用者数8,528名（練習場7,936・ゴルフ場592）、賛同施設（ゴルフ場92・練習場158）

【今期の取り組み】

- ・ ゴルマジ！Twitterでの、Gちゃれ取材記投稿  
⇒8/7開催Gちゃれで取材
- ・ ゴルマジ！体験動画の投稿  
⇒加藤農園ゴルフリンクスにて取材
- ・ ゴルマジ！親子企画の試験導入（杉田ゴルフ場）
- ・ ゴルフショップにおける、告知物（ポスターやチラシ）掲示強化  
⇒ヴィクトリアゴルフでの掲示が確定
- ・ 「観るゴルフも無料！」  
⇒三井住友VISA太平洋マスターズに、ゴルマジ会員を無料招待が確定

今後の展開に関して、全国を網羅しなければならないのか、あるいは重点地域を設け展開していくべきなのか検討中。

③「楽ゴル・ゴルフスタートアッププロジェクト」・・・楽天（別紙参照）

・提供ゴルフ場 140（昨年より 70 コース減）だが、利用人数は増加している。

・楽天 GORA DAY 第二弾開催

6月29日、ゴルフ大樹瀬戸店（愛知）当日参加：507名

④「ゴルフ場を地域との交流の場として活用した地方創成事業」・・・日本旅行 報告なし

⑤「ゴルフのたすき」・・・ゴルフネットワーク

・第2話（全4話）をリピート放映中。エンジョイゴルフ Day の模様も放映。

・10/8 にイベントを開催（取手国際）。40 ペア 80 名を想定。プレー形式は、たすきオリジナル・オルタネートで実施予定。

(3)各団体及び委員からの報告・連絡事項

①JGGA

・ペアスクランブルゴルフ大会開催

7/16(月祝)CPG カントリークラブ(千葉県) 47 ペア 94 名参加(うち女性 33 名・35.1%)

7/26(木)よみうりゴルフウエストコース(兵庫県) 50 ペア 100 名

7/27(金)みずなみカントリー倶楽部(岐阜県) 100 ペア 200 名

・インダストリーカップ：10/30(火)横浜 CC で実施

スクラッチ部門 14 組、アンダーハンディ部門 28 組の参加(168 名) ※GMAC チーム 2 組

②JGJA

・タウンミーティング開催(9/28・13時) テーマ「ルール改正」

③NGK、PGS、JGRA、経産省 報告事項なし

④レジャー白書 2018 ゴルフ人口：670 万人(前年比 120 万人増)

・色々な手法はあるが、ゴルフ界として継続的にゴルフ人口の調査はやっていくべきである。

⇒GMAC の定例会議とは別に議論してみてもどうか。

⑤ごるふあみふえすた

・鹿沼 72 カントリークラブ(栃木県)にて 8/20 に開催。

### 3. 分科会ごとの討議と全体で討議結果の発表・協議

(1)「若年層活性化」分科会 大石委員

①『ゴルフを活用した「社会人力向上」と「健康増進」施策』全体協議（提案資料参照）

GMAC としては、ビジネスパーソン向けの部分をカバーする企画を作ったら良いのではと考え、健康経営に取り組んでいる企業に、ゴルフを活用した従業員の健康増進に目を向けさせる企画を作成した。

・ゴルフ界から出来る具体策

第1段階：健康経営をカリキュラムとして考えている企業に、ゴルフは社会人として役に立つという内容のセミナーを実施。

第2段階：社会人参加型プログラム。G ちゃれと同様に、ゴルフ場での体験を提案。

第3段階：初心者定着を目指したティーチングを含む企画。①PGA ゴルフデビュープログラム②ダンロップゴルフスタートアッププログラム③楽ゴル等

【意見交換】

・2つの視点でこの企画をブラッシュアップしなければならないと思う。①受け手側の企

- 業がこの企画書をどう見るのか。②実際に企画を実施していくにあたり問題点の確認。
- ・住友ゴム工業(健康経営優良法人)の健康推進室長からの意見。
    - ①何故ゴルフなのか？ゴルフである必要性、必然性は何か？
      - ⇒健康経営の観点で言うと、他の方法やゴルフ以外の他のスポーツもある。その中でなぜゴルフが良いのかわかりやすくした方が良い。
      - ⇒ゴルフは運動負荷が低く、手軽に誰でも始めることができるという記述があった方が良い。
      - ⇒生涯スポーツであり、会社を辞めてからも長く楽しむことができる。
    - ②全社員が参加しやすいことが望ましい。
    - ③何か導入事例のようなものを説明してもらえると良い。
  - ・モデルケースを作りあげ事例発表を行い、成果を報告するまではボランティアで対応出来るだろうが、水平展開していく場合は、ボランティアでは対応出来ないのではないか。
  - ・導入部分の講演の内容は、よほど魅力のある人が話しをしない限り、ゴルフの効用についての講義を若い人たちが聞きたくないのではないか。ハードルが高い。
  - ・大企業よりも、ゴルフ好きな社長がいる中小企業の方が取り組んでくれる可能性があるのではないか。
  - ・20～30代に機会があればゴルフに触れてみたいという人たちはたくさんいる。自己啓発のようなセミナーがあり、そこに参加することを会社が応援するという方が気軽に行くことができるのではないか。
  - ・スポーツに関係する色々な人が参加する SPORTEC のセミナーを利用すれば良いのではないか。
  - ・ゴルフを始めさせる一つの切り口として、健康経営という会社単位で行っていくアプローチもあるが、ゴルフに興味を持ってもらうところから行わなければならない、大変である。一方、そもそも社長がゴルフに興味がある、あるいはゴルフをビジネスに使っている企業にアプローチしていくという方法もある。
    - ⇒取っ掛かりとして IT 企業の社長は良いのではないか。また、日経カップに出場している企業のゴルフ部にアプローチするなど。
  - ・経営者や若手の社員に直接ではなく、人事をどう動かすかということ考えた方が早いのではないか。人事部門向けのセミナーで福利厚生として社員に実施させたり、チームビルディングでスポーツを一緒に行わせるといったアイデアを欲していると思われる。

#### 4. 企画プレゼンテーション

三井化学より液晶フィルム技術を応用した、ゴルフシーンに役立つ画期的な新構造遠近両用メガネ「タッチフォーカス」の紹介。 詳細 HP⇒ <https://www.touchfocus.com/>

#### 5. 委員会開催日程

2018年 8月23日(木)	10:00～12:00	於) ゴルフダイジェスト社
9月20日(木)	10:00～12:00	於) ゴルフダイジェスト社 ※日程変更
10月31日(水)	10:00～12:00	於) ゴルフダイジェスト社

以上